



## 概要

- 概要 (1 ページ)
- 外部機能 (1 ページ)
- サービス可能なコンポーネントの場所 (4 ページ)
- サーバ機能の概要 (11 ページ)

## 概要

この章では、Cisco UCS C480 M5 サーバの概要を示します。

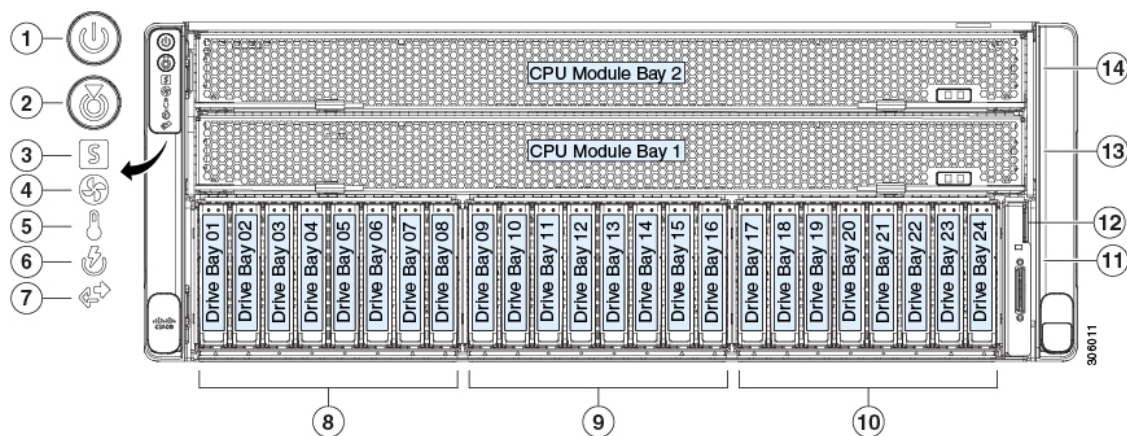
## 外部機能

このトピックでは、サーバの外部機能を示します。

### Cisco UCS C480 M5 サーバの前面パネル機能

LED の状態の定義については、[前面パネルの LED](#)を参照してください。

図 1: Cisco UCS C480 M5 サーバの前面パネル



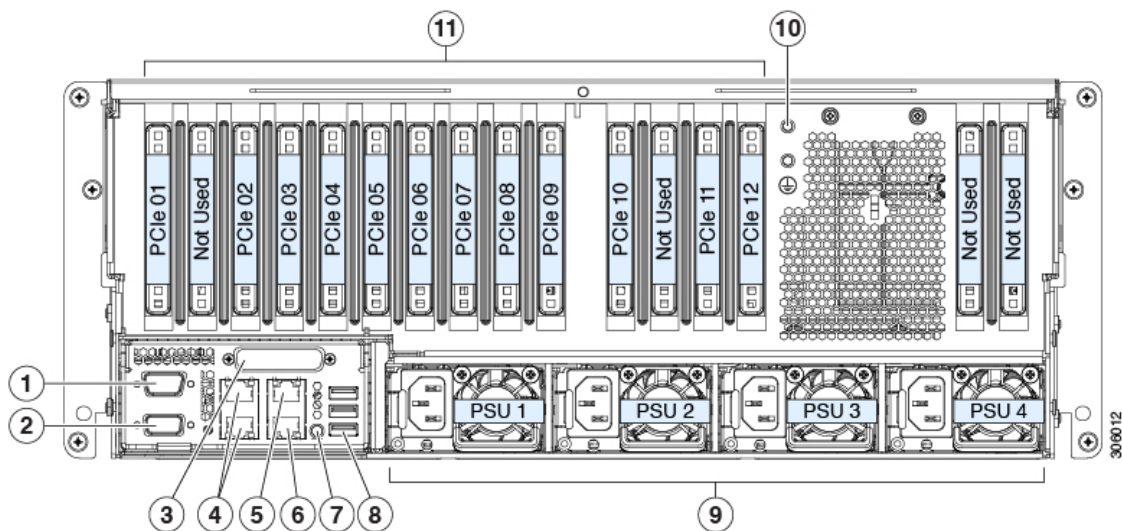
|   |            |   |  |
|---|------------|---|--|
| 1 | 電源ボタン/LED  | 8 | <p>左ベイ モジュール（ドライブ ベイ 1～8）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 1、2、7、8 は SAS/SATA および NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 3、4、5、6 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul> <p>(注) NVMe 専用の前面ドライブ モジュールは、最大 8 NVMe SSD をサポートできます。SAS/SATA モジュールを搭載したこの NVMe 専用モジュールを混在させたり、フィールドのモジュールの種類を変更することはできません。</p> |
| 2 | ID ボタン/LED | 9 | <p>中央のベイ モジュール（ドライブ ベイ 9～16）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 9、10、15、16 は SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 11、12、13、14 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul>   |

|   |                        |    |   |
|---|------------------------|----|---|
| 3 | システム ステータス LED         | 10 | <p>右側のベイ モジュールではいずれかをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションの DVD ドライブ モジュール</li> <li>• ドライブ ベイ 17~24 (表示) <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 17、18、23、24 は SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> </li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 19、20、21、22 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul> |
| 4 | ファン ステータス LED          | 11 | KVM コンソール コネクタ (USB X 2、VGA X 1、シリアル X 1 のコネクタを装備した KVM ケーブルとともに使用)   |
| 5 | 温度ステータス LED            | 12 | 引き抜きアセット タグ   |
| 6 | 電源装置ステータス LED          | 13 | <p>CPU モジュール ベイ 1</p> <p>システムには、起動のためベイ 1 で少なくとも 1 つの CPU モジュールが必要です。</p> <p>ベイ 2 で、CPU モジュールまたは空のフィルター モジュールのいずれかを必要することもあります。</p>   |
| 7 | ネットワーク リンク アクティビティ LED | 14 | <p>CPU モジュール ベイ 2</p> <p>CPU モジュールがベイ 2 に存在しない場合、ベイ 2 に空のフィルター モジュールが必要です。ない場合、システムが起動しません。</p>   |

### Cisco UCS C480 M5 サーバの背面パネル機能

LED の状態の定義については、[背面パネルの LED](#)を参照してください。

図 2: Cisco UCS C480 M5 サーバの背面パネル



|   |   |    |  |
|---|---|----|--|
| 1 | シリアルポート COM 1 (DB-9 コネクタ)   | 7  | 背面 ID ボタン/LED  |
| 2 | VGA ビデオポート (DB-15 コネクタ)   | 8  | USB 3.0 ポート (3 個)  |
| 3 | 現時点ではサポートされていません。   | 9  | 電源1~4 (ホットスワップ可能、2+2 (デフォルト) または 3+1 として冗長)<br>仕様およびサポートされるオプションについては、 <a href="#">電力仕様</a> を参照してください。 |
| 4 | 1 Gb/10 Gb イーサネットポート (LAN1 上部と LAN2 下部)<br>デュアルLANポートは、リンク-パートナーの機能に応じて 1 Gbps および 10 Gbps をサポートできます。 | 10 | デュアルホールアースラグ用ネジ穴   |
| 5 | 10/100/1000 イーサネット専用管理ポート (Base-T)  | 11 | PCIe スロット 1 - 12<br>スロットの仕様については、 <a href="#">PCIe スロットの仕様および制約事項</a> を参照してください。                       |
| 6 | 現時点ではサポートされていません。   | -  |  |

## サービス可能なコンポーネントの場所

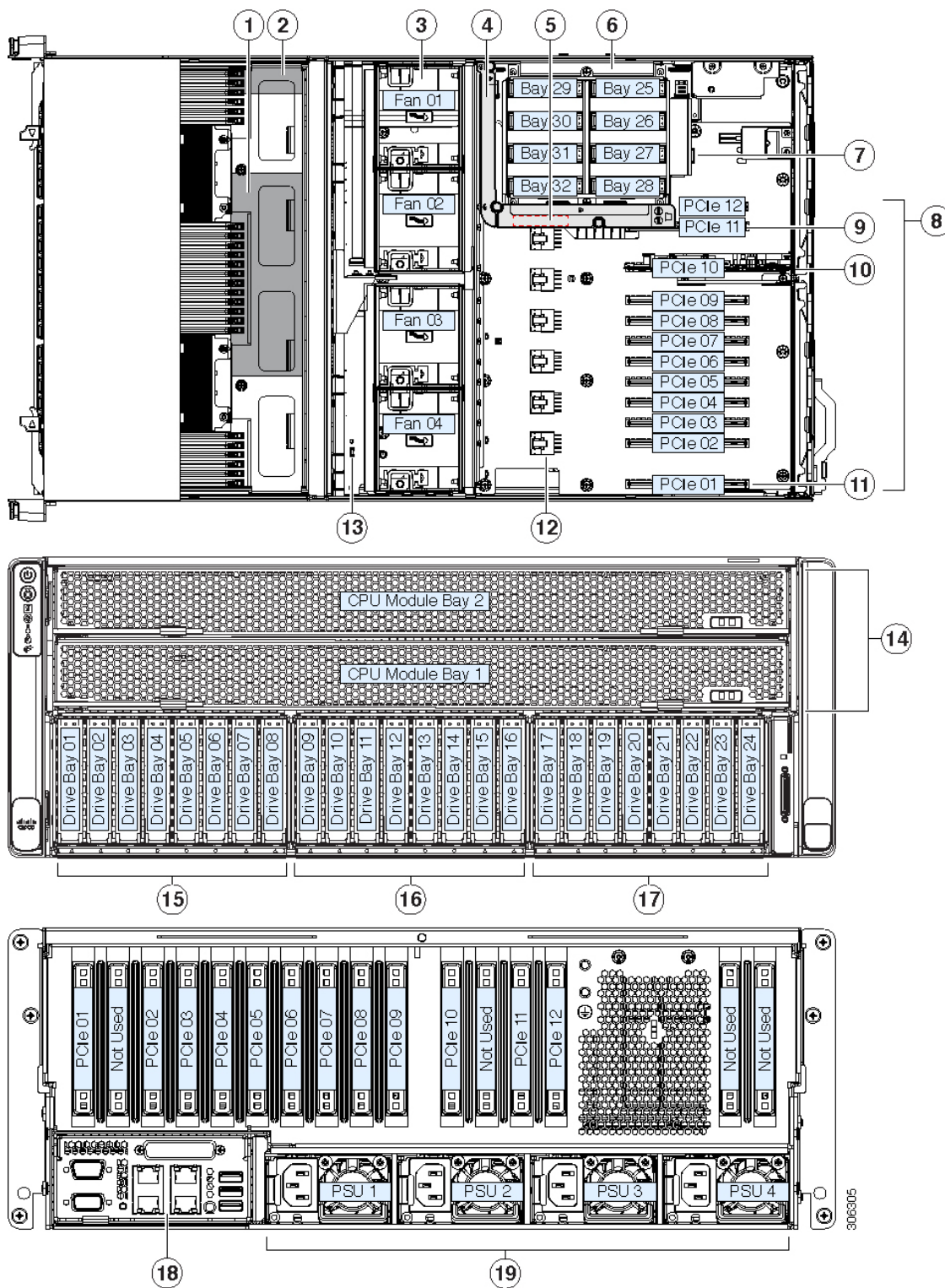
ここでは、フィールドで交換可能なコンポーネントとサービス関連の品目の場所を示します。

サポートされるコンポーネントの部品番号などの、このサーバのすべてのバージョンの技術仕様シートは、『[Cisco UCS Servers Technical Specifications Sheets](#)』に記載されています（「*Technical Specifications*」まで下へスクロールしてください）。

- 主要シャーシ内でサービス対象のコンポーネント（6 ページ）
- CPU モジュール内のサービス対象のコンポーネント（10 ページ）
- I/O モジュール内のサービス対象のコンポーネント（11 ページ）

主要シャーシ内でサービス対象のコンポーネント

図 3: 主なシャーシ内のサービス対象のコンポーネント ロケーション



|   |   |    |   |
|---|---|----|---|
| 1 | <p>前面取り付け用 RAID コントローラ カード<br/>(このビューに表示されません。CPU モジュールの下のシャーシフロア近くにありません。)</p>                               | 11 | <p>PCIe スロット 01 : Cisco UCS VIC アダプタ カードのプライマリ スロット。<br/><br/>(Cisco UCS VIC のセカンダリ スロットはスロット 02 です。)</p>   |
| 2 | <p>前面の RAID コントローラの supercap (RAID バックアップ)<br/><br/>(このビューに表示されません。CPU モジュールの下のシャーシフロア近くに取り付けブラケットがあります。)</p> | 12 | 高電力 GPU カード (6) の電源コネクタ   |
| 3 | ファンモジュール (4つのモジュールにそれぞれ2つのファン、ホットスワップ可能)  | 13 | マザーボード上のトラステッドプラットフォームモジュールソケット   |
| 4 | <p>補助背面ドライブモジュールの空気ディフューザー<br/><br/>背面ドライブモジュールで SAS/SATA ドライブを使用する場合にのみ、このディフューザーが必要です。</p>                  | 14 | CPU モジュール (最大 2 台、フロントの読み込み)  |
| 5 | <p>背面の RAID コントローラの supercap ユニット (RAID バックアップ) の位置。<br/><br/>Supercap のクリップは、空気ディフューザーの表面にあります。</p>          | 15 | <p>左側のベイモジュール (ドライブ ベイ 1~8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 1、2、7、8 は SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 3、4、5、6 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul> <p>(注) NVMe 専用の前面ドライブモジュールは、最大 8 NVMe SSD をサポートできます。SAS/SATA モジュールを搭載したこの NVMe 専用モジュールを混在させたり、フィールドのモジュールの種類を変更することはできません。</p> |

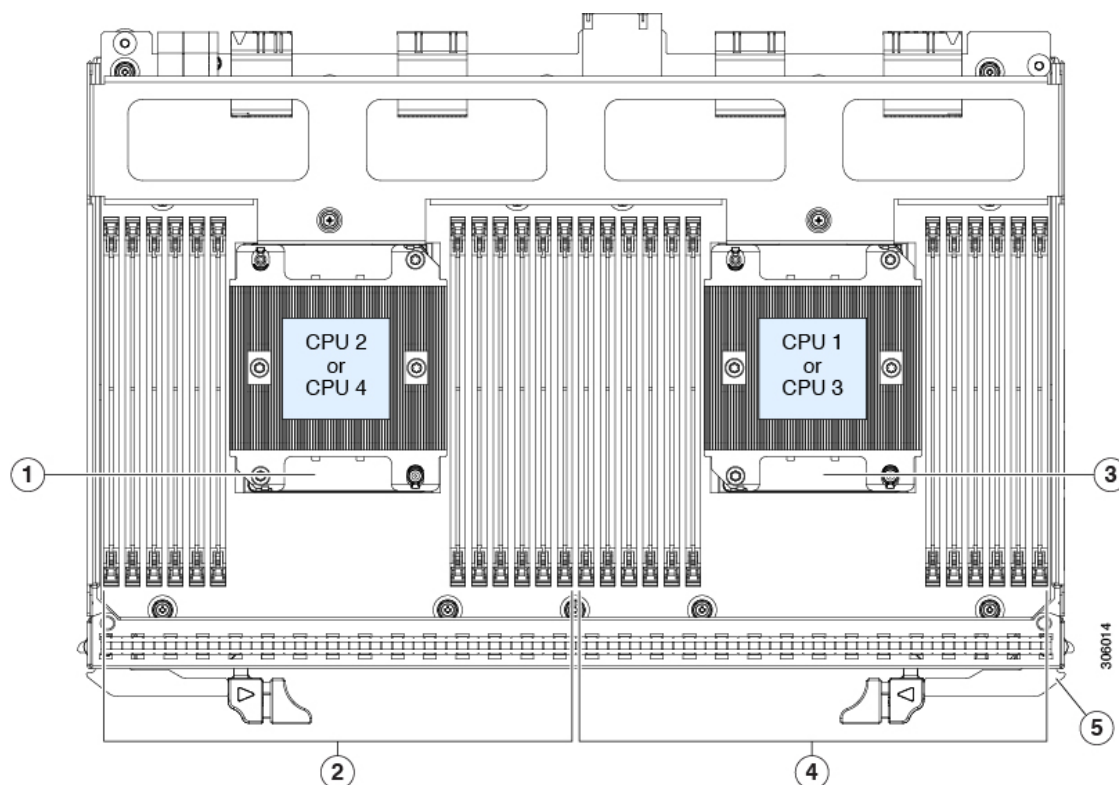
|   |   |    |   |
|---|---|----|---|
| 6 | <p>補助背面ドライブモジュール。いずれかを装備します（混在ではない）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 最大 8 台の 2.5 インチ SAS/SATA ドライブ</li> <li>• 最大 8 台の 2.5 インチ NVMe SSD ドライブ</li> </ul> | 16 | <p>中央のベイモジュール（ドライブベイ 9~16）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 9、10、15、16 は SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 11、12、13、14 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul>  |
| 7 | マザーボード上の内部 USB 2.0 ソケット   | 17 | <p>右側のベイモジュールではいずれかをサポートしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ドライブ ベイ 17~24（表示） <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 17、18、23、24 は SAS/SATA または NVMe ドライブをサポートします。</li> </ul> </li> </ul> <p>前面 NVMe ドライブは、単一の CPU モジュールシステムではサポートされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ベイ 19、20、21、22 は SAS/SATA ドライブのみサポートします。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションの DVD ドライブモジュール</li> </ul> |
| 8 | <p>PCIe スロット 1 - 12</p> <p>PCIe スロットの仕様は <a href="#">PCIe スロットの仕様および制約事項</a> を参照してください。</p> <p>補助内部ドライブケースを内部クリアランスのため使用すると、PCIe スロット 12 は使用できません。</p>              | 18 | <p>I/O モジュール</p> <p>(注) I/Oモジュールはフィールド交換不可であり、1つのシャーシから別のシャーシに I/O モジュールを移動することもできません。このモジュールには、工場出荷時と同じシャーシで PCIeモジュールを維持する必要があるセキュリティチップが含まれています。</p>   |



|    |  |    |  |
|----|--|----|--|
| 9  | <p>PCIe スロット 11 : 背面ドライブモジュールが SAS/SATA ドライブで使用される時の背面 RAID コントローラのデフォルト スロット。</p> <p>(注) 1 台のみの CPU モジュールを使用するシステムでは、スロット 11 はサポートされていません。この場合、背面 RAID コントローラはスロット 10 に取り付ける必要があります、ブランキング パネルはスロット 11 に取り付ける必要があります。</p> | 19 | <p>電源 1~4 (ホットスワップ可能、2+2 (デフォルト) または 3+1 として冗長)</p> <p>システム内のすべての電源モジュールは、同一である必要があります (混在なし)。</p> |
| 10 | <p>PCIe スロット 10 : 背面ドライブ モジュールが NVMe SSD を使用するとき NVMe スイッチ カードに必要なスロット。</p> <p>このスロットは、1 台のみの CPU モジュールのシステムで背面 RAID コントローラに使用する必要があります。</p>   | -  |  |

## CPU モジュール内のサービス対象のコンポーネント

図 4: CPU モジュール内のサービス対象のコンポーネントの場所

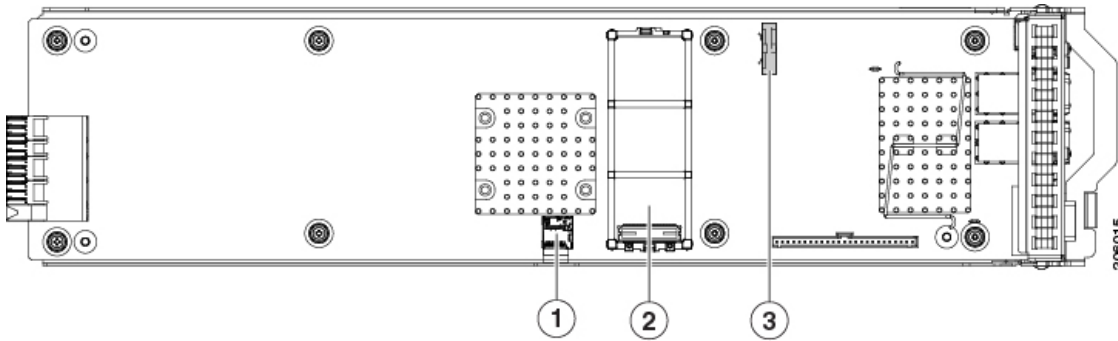


|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1 | <p>CPU の数は、CPU モジュールの場所に応じて異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU 2 およびヒートシンク（モジュールが下部ベイ 1 である場合）</li> <li>• CPU 4 およびヒートシンク（モジュールが上部ベイ 2 である場合）</li> </ul> <p>(注) CPU モジュール 1 の CPU は、CPU モジュール 2（混在なし）の CPU と同じである必要があります。</p> | 4 | CPU 1 または 3 によって制御される DIMM ソケット（チャンネル A、B、C、D、E、F） |
| 2 | <p>CPU 2 または 4 によって制御される DIMM ソケット（チャンネル G、H、J、K、L、M）。</p> <p>DIMM スロットの番号については、<a href="#">DIMM の装着規則とメモリパフォーマンスに関するガイドライン</a>を参照してください。</p>   | 5 | モジュールのリリース レバー（2 つの各モジュール）                         |

|          |   |   |  |
|----------|---|---|--|
| <p>3</p> | <p>CPU の数は、CPU モジュールの場所に応じて異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU 1 およびヒートシンク（モジュールが下部ベイ 1 である場合）</li> <li>• CPU 3 およびヒートシンク（モジュールが上部ベイ 2 である場合）</li> </ul> <p>(注) CPU モジュール 1 の CPU は、CPU モジュール 2（混在なし）の CPU と同じである必要があります。</p> | - |  |
|----------|---|---|--|

I/O モジュール内のサービス対象のコンポーネント

図 5: I/O モジュール内のサービス対象のコンポーネントの場所



|   |  |   |                 |
|---|--|---|-----------------|
| 1 | Micro SD カードスロット   | 3 | RTC バッテリの垂直ソケット |
| 2 | <p>ミニストレージモジュールソケット。次のオプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 2 台の SD カードスロットを備えた SD カードモジュール。</li> <li>• 2 台の SATA M.2 ドライブまたは 2 台の NVMe M.2 ドライブ用のスロットを備えた M.2 モジュール</li> </ul> | - |                 |

## サーバ機能の概要

次の表に、サーバ機能の概要を示します。

| 機能           | Description   |
|--------------|---|
| シャーシ         | 4 ラックユニット (4RU) シャーシ  |
| セントラル プロセッサ  | <p>サーバは、1 個または 2 個のリムーバブル CPU モジュールをサポートしており、それぞれに 2 台の CPU があります。</p> <p>Intel Xeon スケーラブル・プロセッサファミリーから最大 4 個の CPU。これには次のシリーズの CPU が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• インテル Xeon Gold 5XXX プロセッサ</li> <li>• インテル Xeon Gold 6XXX プロセッサ</li> <li>• インテル Xeon Platinum 8XXX プロセッサ</li> </ul> |
| メモリ          | <p>合計 48 個の DIMM に対して各 CPU は最大 12 個の DIMM をサポートします。</p> <p>サーバは最大 2 個のリムーバブル CPU モジュールをサポートし、それぞれ 24 個の DIMM ソケットを持ちます。</p>   |
| マルチビット エラー保護 | マルチビット エラー保護をサポートします。   |
| ベースボード管理     | <p>Cisco Integrated Management Controller (Cisco IMC) ファームウェアを実行する BMC。</p> <p>Cisco IMC 設定に応じて、1 Gb 専用管理ポート、1 Gb/10 Gb イーサネット LAN ポート、または、シスコ仮想インターフェイスカードを介して Cisco IMC にアクセスできます。</p>  |

| 機能              | Description  |
|-----------------|--|
| ネットワークおよび管理 I/O | <p>このサーバのネットワークと管理 I/O ポートは、リムーバブル I/O モジュール上にあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 個の 10/100 /1000 イーサネット専用管理ポート (RJ-45 コネクタ)</li> <li>• 1 個の 10/100 /1000 イーサネットプライベート インターシャーシポート (RJ-45 コネクタ)</li> <li>• 1 Gb/10 Gb BASE-T イーサネット LAN ポート X 2 (RJ-45 コネクタ)</li> <li>• RS-232 シリアルポート (DB-9 コネクタ) X 1</li> <li>• VGA ビデオコネクタポート X1 (DB-15 コネクタ)</li> <li>• USB 3.0 ポート × 2</li> </ul> <p>前面パネル：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB 2.0 2 個、VGA 1 個、DB-9 シリアルコネクタ 1 個を装備した KVM ケーブルを使用する前面パネル KVM (キーボード/ビデオ/マウス) コネクタ X1。</li> </ul> |
| 電源              | <p>4 個の電源、2+2 (デフォルト) または 3+1 として冗長です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AC 電源装置の場合、各台に 1600 W AC を設置</li> </ul> <p>サーバでは、タイプやワット数の異なる電源装置を組み合わせ使用しないでください。</p>   |
| ACPI            | Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) 4.0 規格をサポートしています。  |
| 冷却              | 前面から背面冷却のそれぞれに 2 個のファンがある 4 個ホットスワップファンモジュールです。  |
| PCIe I/O        | <p>シャーシマザーボードの 12 個の垂直 PCIe 拡張スロットです。</p> <p>スロットの仕様については、<a href="#">PCIe スロットの仕様および制約事項</a>を参照してください。</p>  |
| InfiniBand      | このサーバの PCIe バススロットは InfiniBand アーキテクチャをサポートしています。  |

| 機能          | Description  |
|-------------|--|
| ストレージ、前面パネル | <p>サーバは最大 24 個の前面ロードで 2-5 インチ ドライブがあります。</p> <p>前面ドライブ ベイは、3 個のリムーバブル ドライブ ベイモジュール間で分割されています。各ドライブ ベイモジュールには、24 個の前面ロード ドライブ ベイに 8 個のドライブ ベイがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 24 個のすべてのドライブ ベイは SAS/SATA ドライブをサポートします。</li> <li>• 3 つのドライブ ベイ モジュールのそれぞれには、NVMe SSD をサポートする合計 12 個のベイに NVMe SSD をサポートする 4 個のベイがあります。</li> </ul> <p>(注) NVMe 専用の前面ドライブ モジュールは、最大 8 NVMe SSD をサポートできます。SAS/SATA モジュールを搭載したこの NVMe 専用モジュールを混在させたり、フィールドのモジュールの種類を変更することはできません。</p>  |
| ストレージ、内部    | <p>サーバには次の内部ストレージ オプションがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• オプションの背面ドライブ ベイ モジュールには 8 個ドライブ ベイがあります。8 個すべてのベイは、すべての SAS/SATA ドライブまたはすべての NVMe SSD のどちらかをサポートします。混合はサポートされていません。</li> <li>• シャーシ マザーボードで 1 個の USB 2.0 ポート。</li> <li>• I/O モジュール ボードの 1 つのマイクロ SD カード ソケット。</li> <li>• I/O モジュール ボードのミニストレージ モジュール ソケット (いずれかのオプション) : <ul style="list-style-type: none"> <li>• SD カード キャリア。最大 2 つの SD カードをサポートします。</li> <li>• M.2 SSD キャリア。2 個の SATA M.2 SSD をサポートしています。</li> <li>• Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA M.2 ドライブ用に 2 台のスロットを備えたモジュールと、RAID 1 アレイの 2 台の SATA M.2 ドライブを制御できる内蔵 SATA RAID コントローラ)</li> </ul> </li> </ul> |

| 機能                   | Description   |
|----------------------|---|
| その他のリムーバルメディア        | DVD ドライブ モジュールのオプションは右ドライブベイモジュールの代わりに使用できます。   |
| ストレージの管理             | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前面ロードストレージ：単一のストレージコントローラカード (RAID または HBA) に対して、シャーシ前面近くにサーバには専用の内部ソケットがあります。このコントローラカードは、最大 24 個の前面ロードドライブを制御できます。</li> <li>• 内部補助ストレージ。サーバはこれらのオプションがサポートされています。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• SAS/SATA ドライブが補助背面ドライブベイに装着されるときに、PCIe スロット 11 または 10 のストレージコントローラカードによって制御できます。</li> <li>• NVMe SSD が補助ドライブベイで装着されるとき、PCIe スロット 10 に NVMe スイッチカードが必要です。</li> <li>• Cisco ブート最適化 M.2 RAID コントローラ (SATA M.2 ドライブ用に 2 台のスロットを備えたモジュールと、RAID 1 アレイの 2 台の SATA M.2 ドライブを制御できる内蔵 SATA RAID コントローラ)</li> </ul> </li> </ul> <p>ストレージコントローラ オプションの一覧については、<a href="#">サポートされるストレージコントローラとケーブル</a>を参照してください。</p> |
| RAID supercap バックアップ | <p>サーバではRAIDカードを取り付けると、次のオプションがサポートされます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前面ロードドライブの前面RAIDコントローラをバックアップする supercap ユニットについては、シャーシウォールのブラケットがあります。</li> <li>• 背面のRAIDコントローラをバックアップする supercap ユニットについては、背面ドライブモジュールデューザーにブラケットがあります。</li> </ul>  |
| 統合ビデオ                | 統合 VGA ビデオ。   |

